SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

せたがやボランティアネットワーク

世田谷発！ボランティア生活発見マガジン
https://www.otagaisama.or.jp/

2023.02 No.226

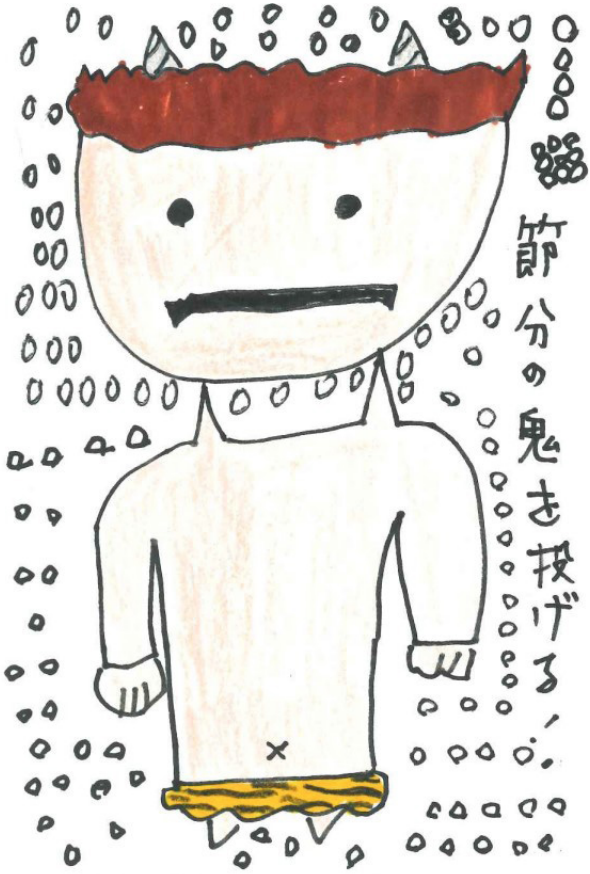
今月のトピック

●特 集 P.2-5
学生と地域がつながる せたがや学生ボランティアフォーラム

●まちの市民力 P.6
タマリバタケ

●レポート P.7
せたがや災害ボランティアセンターレポート 防災シンポジウム「子どもたちと災害」

●ミニレポート P.11
世田谷ボロ市に参加しました！



●イラストレーター MIDO
絵を描いたり、歌を歌うことが好きです。

●わたしの世田谷
梅丘ボランティアビューローは皆さん親切なところで好きです。

特集 学生と地域がつながる せたがや学生ボランティアフォーラム

12月17日（土）成城ホールにて「せたがや学生ボランティアフォーラム（以下フォーラム）」が開催されました。今年度のフォーラムには世田谷区内の5大学8つのボランティアサークルが参加。学生たちは準備段階から世田谷区と世田谷ボランティア協会とともにオンライン上での会議を重ね、当日を迎えました。今月号ではフォーラム当日の様子を紹介します。

「せたがや学生ボランティアフォーラム」とは？

世田谷区内には17の大学・学部があります。世田谷区は、大学と区の連携・協力によるまちづくりを推進するため、「せたがや学生ボランティアネットワーク」を展開しています。世田谷ボランティア協会もこの事業のサポート役に加わり、学生ボランティア団体の活動を応援しています。

「せたがや学生ボランティアネットワーク」は「せたがや学生ボランティアネットワーク会議（以下ネットワーク会議）」（年6回実施）と「せたがや学生ボランティアフォーラム」（年1回実施）から成ります。ネットワーク会議はオンライン上で開催しており、参加団体が活動状況を報告し合います。その中で「活動メンバーを増やす工夫」や「新しい活動を見つけるにはどうしたらよいか」など、学生たちが活動する上で困っていることや、これからやってみたいことを自由に語りあう場になっています。そしてフォーラムは、学生たちの活動をさらに多くの人々に紹介する場であり、学生たちが互いに学び合い、交流する場でもあります。

昨年度のフォーラムは新型コロナウイルスの影響もありオンライン上で開催されましたが、今年度のフォーラムは12月にリアルで開催できることになったので、8月と10月のネットワーク会議を利用して、学生と区と世田谷ボランティア協会でフォーラムに向けての打ち合わせを行い、内容や役割分担を決めていきました。

朝から準備開始

迎えたフォーラム当日。会場設営や活動発表を担当する学生たちは朝早くから集まりました。リハーサルを終えたあとは、楽屋でホッと一息。これまでは、ほぼ全

員が、他団体のメンバーとはオンライン上で顔を合わせただけだったので、ようやくリアルで顔を合わせる貴重な時間でした。

本番前に、司会を担当する昭和女子大学ＥＮＶＯの若田部有夢さん（４年生）に今の気持ちをうかがいました。緊張しているか尋ねたところ「いいえ、楽しみでワクワクしています。いままでオンライン上でしか会ったことのない皆さんと初めて会えて、とてもうれしいです」。今日のフォーラムに期待することについて聞くと、「参加者の皆さんとたくさん話がしたいです。ＥＮＶＯの活動発表は１年生が担当するので、彼女たちの良い経験の場になるといいなとも思っています」。

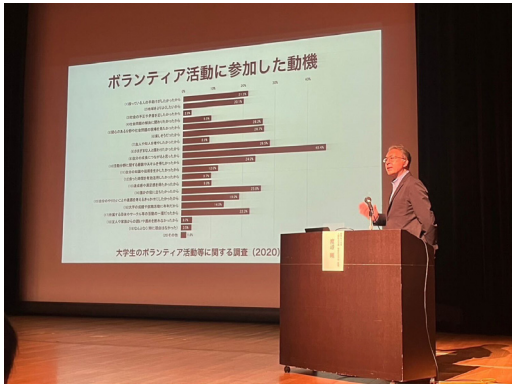
本番前、楽屋でホッと一息

若田部さんは、２０１９年に開催された、今回のフォーラムの前身となるイベントに参加し、先輩の活躍を見ました。自分もやってみたいと思い、２０２０年にはそのイベントの運営側としてかかわる予定だったそうです。しかし新型コロナウイルスの影響で、残念ながらイベントは中止となったため、「今回このフォーラムに関わることができて、とてもうれしいです」と、ずっと思い続けていた気持ちを語ってくれました。

いよいよフォーラム開始！

定刻どおり14時にフォーラム開始。基調講演では昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科教授・コミュニティサービスラーニングセンター長の渡辺剛先生が「人はなぜボランティアをするのか」というテーマでお話しされました。

ボランティアは意味ある自分と



渡辺先生による基調講演

出会う旅である。人は成長するために「意味ある自分との出会い」を求める。そのために、心の奥に潜む「必要とされたい」という「内発的動機」に眼を向けること、意味ある他者と出会うこと、そして自己の能力を肯定的に捉え、それを最大限に活かしながら「生きることの喜び」を獲得していく生き方を求めること。「勇気をもって、ボランティアという自分探しの旅に出かけよう」という言葉で、会場に向かってボランティア活動の意義をお話しくださいました。

パネルディスカッションで意見交換

続いて参加8団体の活動紹介（次ページ参照）。最後は参加団体の代表者8名によるパネルディスカッション。ファシリテーターは基調講演に引き続き渡辺先生です。「ボランティア活動から学んだこと」「ボランティア活動を広げていくために」というテーマで、学生たちが意見を交換しました。

ボランティア活動を続ける中で、コミュニケーション能力が上がった、いろいろな人と出会うことで大学の授業だけではない学びがあったなどの意見が出ました。また、ボランティア活動は「支援する」という一方向だけではなく、「一緒に作り上げる双方向のもの」という声が印象的でした。そして、長引くコロナ禍での活動の工夫や、新入生の勧誘方法など、お互いの苦労を共有しました。

あっという間に2時間半が過ぎ、フォーラムは無事終了。終了後の学生たちには、ホッとした笑顔があふれていました。全員で会場を片付け、参加の学生全員に区から「フォーラムの参加証明書」が手渡され、最後に記念写真を撮りました。

大役を終えた学生たちにフォーラム参加の感想を聞きました。学生たちにとって、このフォーラムが大きな気づきの場となったようです。

●他の活動をたくさん知ることができた。真似するのではなく、仲間もがんばっているから、自分も自分の活動を頑張ろうと思った。

●他の人の話をきいて、自分ももっと多くの活動に参加したいと思った。

●色々な活動の話を聞いて、ボランティア活動は楽しいものだと思った。

●みんな自分で活動を探し出しているのを聞いて、自分も積極的に動いてみようと思った。

「せたがや学生ボランティアネットワーク」にとっても、今回のフォーラム開催は大きな一歩となりました。これからも世田谷ボランティア協会は、ボランティア活動をする学生たちのネットワークが広がるように、また学生たちの地域での活動が充実するようにサポートしていきます。

フォーラム終了！　みなさん笑顔で記念写真

活動紹介

●国士館大学　児童教育研究会
主な活動:昨年から開始した小学生対象の「せたがや ASOBO（アソボ）！」すべて一からの作業。役割分担して取り組みました！

●駒澤大学＿駒沢大学ボランティアサークル
主な活動：子どもたちと遊ぶ活動・障がい者施設での活動など。
自分たちが活動することで、幅広い世代の交流になるといいな！

●駒澤大学　学生赤十字奉仕団
主な活動：駅前での献血の呼びかけ・特別支援学校の生徒との交流・東京マラソン・学習支援など。
コミュニケーション能力があがりました！

●昭和女子大学　ENVO
主な活動：高齢者とはがきでつながる活動・特別支援学校のカフェのメニュー作り・学習支援など。
世田谷区民と学生が、お互いに身近な存在として認識できるようになりました！

●日本大学文理学部　学生国際ボランティアグループ Salamat “A”
主な活動：フィリピンの子どもたちの教育支援（奨学金支援・物品支援）。
単純な支援でなく、双方向のやりとりが生まれました！

●明治大学　きずな International
主な活動の１つ、「うめ・ゆめふれあい塾（学習支援）」を紹介。
小学生のみんなが楽しむ姿を見て、心温まりました！

●明治大学　心身障害者福祉会しいの実
主な活動：小中学校での放課後の見守り・電動車椅子サッカーチームの練習サポートなど。
いろいろな方との出会いがあります！

●明治大学　ぱれっと
主な活動：大学周辺のゴミ拾い・エコキャップ回収・児童館での活動など。
ゴミに対する意識が変わりました！

おしらせ
「せたがや学生ボランティアフォーラム」の動画が、世田谷区YouTube 公式チャンネルに２月中にアップされる予定です。ぜひご覧ください。
URL: https://www.youtube.com/SetagayaCity

「農」を通じて地域交流

タマリバタケ

まちの市民力!!

取材・中部　香世

●

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

タマリバタケは、上野毛地区の区有地を使い、「農」に親しみながら地域住民が交流する取り組みです。NPO法人neomuraと世田谷区都市計画課の提案型協働事業として実施しています。タマリバタケは「たまり場」と「ハタケ」を組み合わせた言葉。農業体験をする畑だけではなく、地域に暮らす老若男女が集う交流の場としての面も持っています。プロジェクトが立ち上がったばかりの2021年5月には草ぼうぼうの空き地だった土地を、参加者が力を合わせて耕し、少しずつ野菜や花などを植えました。そのほかウッドデッキや丸太椅子、子どもの遊び場として砂場やブランコなどをDIYで作った結果、見事な憩いの場に生まれ変わりました。

12月の晴れた週末の午前中、20人ほどの参加者がタマリバタケに集いました。この日はワイヤーで囲まれた入り口をもっとフレンドリーな雰囲気にしたいと、花でいっぱいにする作業を開始。といっても、何でも一から手作りのタマリバタケでは、植木鉢代わりの大きなワイン樽を置くスペース作りから始まります。それから草を刈り、樽の固定・転落防止のため杭をのこぎりで切って木づちで地中深くに打ち込みます。タマリバタケは3回目という参加者の女性は、「農というと、野菜を育てて収穫してということを想像していましたが、実は裏にこういう目に見えない地道な作業がたくさんあることを知りました」と、改めて農家の苦労を思っていました。

世田谷区では、相続などの問題で農地がやむを得ず宅地に変わってしまうなど、農地（緑）が失われる傾向が続いています。タマリバタケは「ガチ」で農業をする取り組みではありませんが、楽しみながら農に親しむ人が増えることで、周りにある畑への関心が広がり農地の保全につながるのではないかと、区・都市計画課の柿澤係長は期待を込めて語ります。

タマリバタケは、誰でも自由に参加できます。特にタマリバタケ周辺地域に住む人たちに集まってもらいたいと、neomuraでタマリバタケを担当する武井さんは話します。農に親しみながら参加者同士のつながりが生まれ、自然とコミュニティが育まれる。そんな場作りを目指し、今週もタマリバタケに多くの人が集います。

おしらせ
「タマリバタケ」で検索！
URL: https://www.neomura.or.jp/tamari-batake

せたがや災害ボランティアセンターレポート
防災シンポジウム「子どもたちと災害」

1月14日（土）成城ホールにて「防災シンポジウム」を開催し、100名以上の方にご参加いただきました。

今年のテーマは「子どもたちと災害」で、NPO法人災害時こどものこころと居場所サポート副代表の本田涼子氏、そとあそびプロジェクト・せたがや外遊び推進員の神林俊一氏、世田谷区子ども・若者部子ども家庭課の津田知子氏にご登壇いただきました。

第二部パネルディスカッションの様子

災害時に子どもたちがどのような被害を受け、それによってどのような変化・変調が生まれるのか、それを乗り越えて日常を回復するためにはどういうことが必要なのか、三氏の講演とパネルディスカッションにて検討しました。参加された方からは「子ども自身の回復する力・レジリエンスを寄り添いながら、見守っていくことが必要だと感じた。」「大人も子どもも日ごろのお付き合い、関係性が大事だということ、その発想を地域に育んでいくことが、いざという時に生かされることを、本日のシンポジウムで改めて理解することができました。近隣の皆様に広げていきたいと思います。」などの感想をいただきました。2月中旬ごろには、この様子を、YouTubeのせたがや災害ボランティアセンター公式チャンネルでご覧いただけます。

被災地での支援活動の報告をする
神林俊一氏

パネルディスカッションで議論を深める
本田涼子氏と津田知子氏

おしらせ

2月11日（土）、日本体育大学にて、災害ボランティアコーディネータ養成講座を開催します。詳細はP.11をご覧ください

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL　5712-5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　高居・原口
TEL　5712-5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 小 代田6丁目での学習支援ボランティア募集

代田に住む小学3年生と1年生の兄妹が、夕方の時間に宿題を一緒に取り組んでくださる方を求めています。国語の音読や算数などを一人30分程度ずつで、二人分あわせて約1時間をお願いしたいと思います。学校では周囲についていけるよう頑張っていますが、自宅での学習となると大人の手助けが必要です。サッカーやゲームをするのが好きなお兄さんと、お話が好きで活発な雰囲気の妹さんです。できるだけ長期間関わって下さる方であれば助かります。

●日時／月～金の中で可能な日、15時～17時の間で1時間程度
●場所／代田6丁目のご自宅
●交通／新代田駅徒歩3分、または下北沢駅徒歩10分
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー　担当　石川
TEL　3420-2520
umebora@otagaisama.or.jp

東 高2男子の学習支援ボランティア募集

等々力にある児童福祉施設で高校2年生の男子が学習支援を必要としています。カードゲームやワンピースなどのアニメが好きな男の子で、寄り添いながら一緒に取り組んでもらえる理系の大学生を探しています。支援してもらいたい教科は数学・理科・英語で、本人がその日やりたいものを学習します。本人のペースでかかわってくださる方、ご連絡をお待ちしております。

●日時／火、木の週2回。19～21時の間に1～2時間程度。（週1回でも可、ご相談下さい）
●場所／等々力にある児童福祉施設
●条件／理系の大学生・大学院生。交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL　3707-3528
tamabora@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は1月17日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

OTAGAISAMA VIEW

京 子どもたちの居場所づくりボランティア募集

放課後に地域の小学生が集まる居場所で、学習の見守りや遊び相手・話し相手になったり、会場の片付け等をしてくださる方を募集しています。この場所では、小学生への食事提供も行なっています。

●日時／祝日を除く毎週月・金曜日、14時半～20時の間で1日4時間以上可能な方（1か月の参加回数は応相談）
●場所／上北沢近辺の居場所会場
●交通／上北沢駅
●条件／大学生以上の男性で体力があり、子どもと関わった経験があり、長期活動ができる方。交通費込み1500円／日支給
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー　担当　石川
TEL　3420-2520
umebora@otagaisama.or.jp

小 東 小1男の子の遊び相手募集

小1の男の子と、祝日や平日放課後に遊んでくれるお兄さんボランティアを募集しています。お母さんは視覚障害を持っており、外に連れて行って遊んであげることができません。本当はキャッチボールやサッカーやスケートボードをしたいのに、家で一人で遊ぶことが多いため、お休みの日に近くの公園で一緒に遊んでくれるとうれしいです。元気なお兄さんの応募をお待ちしています！

●日時／平日15時以降、祝日（時間は要相談）
●場所／自宅（大蔵）に迎えに行き、そこから徒歩10分程度の砧公園、大蔵運動場など
●交通／二子玉川駅または成城学園前からバスで10分ほど
●条件／大学生の男性。男の子の自宅までの交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL　3707-3528
tamabora@otagaisama.or.jp

小 高1女子の学習支援ボランティア募集

通信制高校1年生の女の子に寄り添いながら、一緒に課題提出（特に数学と英語）に取り組んでくれる女性を探しています。ダンスやサッカーが好きな活発な女の子です。ときにはおしゃべりも楽しみながら、かかわってもらえるとうれしいです。詳しくはお問合せください。

●日時／月・火・水・金のいずれか10時～17時の時間帯で2時間程度（回数・頻度は応相談）
●場所／祖師ヶ谷大蔵駅周辺のフリースペースなど
●交通／祖師ヶ谷大蔵駅近辺
●条件／大学生以上の女性
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　原口
TEL　5712-5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

小 付き添いボランティア募集（上祖師谷三丁目）

軽度の知的障害がある50代の女性が、日中の活動場所まで同行して下さる方（行きのみ）を募集しています。明るく朗らかで、いろんなことに興味があります。活動場所までの道のりを、お散歩気分でゆったり付き合ってくださるとうれしいです。詳細はお問い合わせください。

●日時／平日朝9時から2時間ほど（週1回から可）
●場所／上祖師谷のご自宅から喜多見（バスと電車を乗り継ぎ）
●条件／交通費支給
●問合せ／砧ボランティアビューロー準備室　担当　花輪
TEL　6411-4007
kinutabora@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

有償スタッフ募集

東 家事をサポートしてくれる女性募集

東玉川にお住まいの目の不自由な80代の女性が、家事をサポートしてくれる方を探しています。お野菜を切ったり洋服をたたむ、ネットでのお買い物など一緒にお手伝いしてくださると助かります。活動日と時間は相談して決めたいと思います（1回2時間程度）。女性の方のご応募お待ちしています。

●日時／月～土（時間は要相談）
●場所／東玉川の自宅
●交通／田園調布駅徒歩15分
●条件／1時間1000円（緊急介護人の登録）、女性
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707-3528
tamabora@otagaisama.or.jp

東 障害者施設の作業のお手伝いをしてくださる方募集します

駒沢大学駅から徒歩3分にある障害者通所施設です。1日18名くらいの利用者さんが通所され、作業、レクリエーション、スポーツ、音楽活動等を通して心と体の回復を図っています。公園清掃作業、所内作業などを利用者さんと一緒にしてくださる方を募集しています。興味のある方はぜひお問合せください。

●日時／平日9時30分～12時。13時～15時30分（例、応相談）
●場所／Navioけやき
●交通／駒沢大学駅徒歩3分
●条件／1時間1100円、交通費実費
●問合せ／Navioけやき
TEL 3421-8701
navio.keyaki@swc-kai.com

講座・その他・募集

4月から梅丘ボランティアビューローの名称が変わります

世田谷ボランティア協会は、地域に根ざしたボランティア活動が、つながりを生かした地域づくり、安心して暮らしていけるまちづくりの実現につながるよう、その活動拠点としてボランティアビューローを設置してきました。

12月から現在の梅丘ボランティアビューローを北沢地域の活動拠点とし、2023年4月から、『北沢ボランティアビューロー』に名称を変更いたします。住所や電話番号に変更はありません。引き続きよろしくお願い致します。

小 民家園ボランティア募集説明会

民家園ボランティアは、スタッフの一員として、昔の世田谷における農家の衣食住や職人に関する実演や体験教室といった、区民や来園者の方々が世田谷の歴史や文化財について、さらに理解を深められるような活動に取り組んでいます。

令和5年度民家園ボランティア新規会員募集にあたり、説明会を開催します。どちらか1日、都合の良い日を電話で、2月1日より2月16日9時から17時まで事前に申し込みください。

民家園ボランティアへの参加を希望される方は下記の日程で行われる「募集説明会」と、3月22日と3月25日のいずれかの「研修会」参加が必須です。

●日時／2月22日（水）、25日（土）
●会場／次大夫堀公園民家園
●交通／成城学園前駅徒歩15分、またはバス停「次大夫堀公園前」下車徒歩2分
●条件／区内在住、在学、在勤
●申込み／電話にて（先着順）
●問合せ／世田谷区教育委員会事務局 生涯学習・地域学校連携課 民家園係 担当 橋山
TEL 3417-5911
SEA02059@mb.city.setagaya.tokyo.jp

上記掲載記事は1月17日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

京 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）@日本体育大学

本年度5回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を日本体育大学にて開催します！ 内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／2月11日（土）13時30分～16時30分※13時より受付開始
●会場／日本体育大学 世田谷キャンパス（世田谷区深沢7-1-1）
●交通／桜新町駅より徒歩15分、またはバス5分「日本体育大学前」で下車
●参加費／無料
●申込／せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールか電話にてお申し込みください。
●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター TEL 5712-5101 saigai-info@otagaisama.or.jp

東 ささえる会防災講座「私の在宅避難」参加者募集

『在宅避難』をよく理解し、その日その時を知って、考えて、今出来る事を見つけましょう。昨年開催した防災シンポジウムからも学びます。「世田谷ボランティア協会」をささえる会が主催します。

●日時／3月25日（土）10時～11時半
●会場／世田谷ボランティアセンター（世田谷区下馬2-14-10）
●交通／三軒茶屋駅徒歩10分
●参加費／500円（資料代）
●定員／20名
●申込／電話受付
●問合せ／「世田谷ボランティア協会」をささえる会 TEL 5712-5101

世田谷ボロ市に参加しました！

2022年12月15日、2023年1月15日、16日に、世田谷ボロ市に参加しました！ 3年ぶりの開催でとても盛り上がりました。世田谷ボランティア協会は、セーターやコートなどの衣類や、食器を中心に販売しました。

12月は比較的暖かく、たくさんの方が買い物にきてくださいました。1月はあいにくのお天気で心配していましたが、その中でも足を運んでいき、購入してくださいました。売上金は、私たちの活動費に充てさせていただきます。

最後に、お買い物をしてくださった方々、ボランティアで当日手伝ってくださった方々、ありがとうございました！

世田谷ボランティア協会の活動●支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

■世田谷ボランティアセンター　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
■梅丘ボランティアビューロー　〒154－0022 梅丘1－8－9　TEL (3420)2520 FAX (3706)2854　※
■玉川ボランティアビューロー　〒158－0094 玉川2－1－15　TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
■砧ボランティアビューロー準備室 〒157－0066 成城6－3－10　TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

※4月から北沢ボランティアビューローに名称が変更になります。住所や電話番号は変わりません。

●いのちを大切にするところ「ふらっと」&「with」です●

■ケアセンター「ふらっと」　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
■ケアセンター「ｗｉｔｈ」　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

■ケア相談センター結(ゆい)　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
■ケアステーション連(れん)　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにともなう「困った！」を話せるところ●

■地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋 2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

■せたがやチャイルドライン　こどもせんようでんわ　TEL (3412)4747　0120-99-7777(ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ)
＊事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター＆ビューローより

羽根木公園で2月から開催される「梅まつり」に、2月18日(土)に出店します。みなさまのお越しをお待ちしています！

◆ふらっと＆ with より

今年ももうひと月が過ぎ、日々寒さが深まるなか、街では早くも梅の花が咲いている姿を見かけ、木々も早い春が待ち遠しいのだと感じます。早い春を外出で楽しみたいです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！　世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

休み明けや受験シーズンで、子どもたちはいろいろな気持ちを抱えているかと思います。チャイルドラインは、電話やチャットで子どもたちの声を待っています。

編集後記

■「せたがや学生ボランティアフォーラム」に参加した学生が、地域ともっとつながりを持ち、さらに活動が活発になるように私たちもサポートしていきたいと思います。

■1月14日の「防災シンポジウム」で写真撮影係をしながら、講演を拝聴していました。被災後、子どもの気持ちの変化のお話しがとても興味深かったです。当日の様子は、せたがや災害ボランティアセンターの公式YouTubeチャンネルで2月中に公開予定です！　（近藤）

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154－0002
世田谷区下馬2－20－14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811
●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
https://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山　康博